

戸澤正雄さん 瑞宝双光章受章

戸澤正雄さん（立ヶ瀬）が瑞宝双光章を受章されました。

戸澤さんは、昭和22年8月、鉢形村消防団員を拝命以来、45年余りの長きにわたり、常に第一線に立ち地域住民のため献身的に消防業務に従事されました。



昭和40年4月には、消防力の充実・強化を図るため発足した寄居町消防団常備部の第1期班長に任命され、各種災害の現場活動において自己の任務をまっとうされました。

また、平成元年には、寄居地区消防組合の消防長に就任。豊富な知識と経験から消防行政全般に幅広く活躍し、地域消防発展のため大きく貢献されました。

柴崎経雄さん 瑞宝双光章受章

柴崎経雄さん（上組）が瑞宝双光章を受章されました。

柴崎さんは昭和28年10月に埼玉県の警察官を拝命以来、平成5年3月までの39年余りの長きにわたり、交通安全教育や防犯のまちづくりに尽力されました。



「交通戦争」といわれた昭和30年代から40年代にかけては、交通業務を担当され、交通事故抑制活動を推進されました。

また、地域課長として、地域の人々との交流を深め、安全・安心な生活をモットーに派出所（現交番）、駐在所に勤務された他、パトロールカーの効率的運用にも努められました。

退職後は埼玉県運転免許センターの講師を務められ、交通安全教育に大きく貢献されました。

芝 宏さん 瑞宝双光章受章

芝宏さん（栄町）が瑞宝双光章を受章されました。

芝さんは、昭和41年4月に陸上自衛隊に入隊以来、36年余りの長きにわたり、朝霞・市ヶ谷・練馬等の各駐屯部隊に勤務され、射撃指揮班長、体育教官、陸幹校付陸曹、第1師団司令部業務陸曹、体育学校教務幹部等を歴任され、平成13年に2等陸尉として退官されるまでの間、豊富な経験と卓越した識見をもって職務を遂行されました。



また、現在は、寄居町自衛官募集相談員や寄居町自衛隊父兄会の役員として、自衛官の募集等に情熱を注がれています。

町田収弘さん 瑞宝小綬章受章

町田収弘さん（折原上郷）が瑞宝小綬章を受章されました。

町田さんは昭和36年3月に東京教育大学を卒業、同年4月、東京都の世田谷工業高等学校に赴任されました。以来、寄居高等学校教諭、熊谷高等学校教諭、行田高等学校校長などを歴任され、平成10年3月に松山高等学校校長として退職されるまで37年の長きにわたり学校教育に専心されました。



また、教育行政の面では埼玉県教育局指導課指導主事、埼玉県立南教育センター次長兼政策研究部長を歴任されるなど教育行政の推進にも尽力されました。

北条軍と豊臣軍が激突！ 寄居北條まつり剣道大会開催！

寄居剣道連盟（柴崎正会長）では、4月12日に「第47回寄居北條まつり剣道大会」を開催しました。この大会は、小学生から大人までの約70人が「北条軍」と「豊臣軍」に分かれて、勝ち抜き戦により勝敗を争いました。

試合では、序盤に北条軍が大きくリードしましたが、中盤以降になると豊臣軍が猛烈な巻き返しを見せ、最後は大将同士の決戦へともつれ込みました。結果は激闘の末、北条軍が勝利を収めました。

大会では、男女の対戦があったり、年少者が年長者を打ち負かしたりと、まさに戦国時代の雰囲気を感じさせていました。



災害時の電気設備復旧協定 県電気工事工業組合と締結！



町では、4月16日に埼玉県電気工事工業組合と災害時の公共施設等の電気設備の復旧に関する協定の調印式を行いました。この協定は町内において、災害等が発生した場合に、災害応急対策や災害復旧対策を円滑に実施することを目的としています。

具体的には、災害が発生した場合に、町の支援要請に基づき同組合から、被害を受けた公共施設等の電気設備の復旧工事等の支援協力が優先的かつ速やかに受けられるものです。



つつじまつりが 盛大に開催されました！

町観光協会金尾支部（稲山政治支部長）による「つつじまつり」が金尾山で開催されました。

全山約3ヘクタールに自生した約5千株のつつじで真っ赤に彩られた金尾山は、関東有数のつつじ山と評判で、期間中は県外からも観光客が訪れ、にぎわっていました。

4月29日には山頂で祭典や獅子舞などのイベントも開催され、訪れたたくさんの観光客から拍手が起こっていました。

